

開館 30 周年記念展 I

ちひろの歩み

2007.3.1 (thu) . . .

ちひろ美術館・東京は開館 30 周年を迎えます。

ちひろ美術館・東京は、1977年、いわさきちひろの自宅跡地に、世界で初めての絵本美術館としてオープンしました。以来、30年間に150回を超える展覧会を開催してきました。

開館30周年を記念する本展では、これまでのちひろ研究の成果をふまえ、その絵と人物の魅力に迫ります。昨年新発見された戦後間もない時期の雑誌の表紙絵や、絵雑誌などに描いた作品、ちひろの本領ともいえる絵本の仕事、あかちゃんや子どもを描いた代表作まで、画業全体を概観できる約100点を展示します。

展示室1—ちひろの代表作

雑誌などに発表した絵の他、『おやゆびひめ』などの物語絵本やあかちゃん向けの絵本『もしもしおでんわ』、独自の地平を切り拓いた絵で展開する絵本『となりにきたこ』や『ことりのくるひ』の原画などちひろの代表作を展示します。



絵本『となりにきたこ』より 1970年



おさんぼ 絵本『もしもしおでんわ』より 1970年



チューリップのなかの男の子 1965年

展示室2—スケッチでたどるちひろの歩み

画家を志した当初から晩年に至るまでのスケッチと同時期に発表された作品を時代を追ってご紹介。画家・ちひろの素顔に迫ります。

レンニングラード アイスクリーム屋
1963年煙突掃除の少年
絵本『絵のない絵本』より 1966年

展示室3—家族の肖像

夫や息子を描いたスケッチを展示。妻として母親としての画家の側面をご紹介します。

湯ヶ島 旅館での息子・猛
1963年

多目的展示ホール—ちひろの人生

時代を追って、ちひろのことばや写真と共に、書籍などの資料、原画を展示。ちひろの人生を展観します。昨年発見された初期の作品も初公開します。



いわさきちひろ (1918~1974)

福井県生まれ、東京に育つ。東京府立第六高等女学校卒業。絵本画家としての活動を精力的に行う。生涯子どもを描き続け、9300点をこえる作品が残されている。55歳で没。

1977年ちひろ美術館・東京開館。

1997年 安曇野ちひろ美術館開館。